

銅合金の押出・鋳鍛造品メーカーである大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)は「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」でいちばん大切にしたい会社大賞で中小企業庁長官賞を受けた。賞

「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」

中小企業庁長官賞を受賞

は人を大切にする経営学会と法政大学大学院が主催し、経済産業省などが後援。従業員や家族、外注・仕入れ先、顧客など様々な立場の人々を幸せにする企業を増やすためのもので、今回で9回目。

大和合金は創

業から「誠実一路」や「創造開発」などの理念に基づいた経営を愚直に貫いていることや、親子・夫婦の社員も多く大家族的な経営に取り組んでいる点が評価された。また

社員のモチベーションと帰属意識の高さや、研究開発投資の多さなども受賞につながった。

22日に東京都千代田区の法政大学市ヶ谷キャンパスで行われた表彰式で萩野社長が中小企業庁の奈須野太経営支援部長から賞状と記念の盾を受け取った(写真)。



萩野社長は「今回の受賞は社員やその家族、OBなど当社に関わるすべての皆様のおかげ。皆で喜びを分かち合い、これらの人々を大切にする企業であります」と話した。

萩野社長は「今回の受賞は社員やその家族、OBなど当社に關わるすべての皆様のおかげ。皆で喜びを分かち合い、これらの人々を大切にする企業であります」と話した。